

## 9 保育福祉科 夜間主コース 土曜クラス 1年次

	講 義 名	開講時期・単位数	
		前 期	後 期
保育士養成課程 教 養 科 目	体育Ⅰ	2	
	体育Ⅱ		1
保育士養成課程 必 修 科 目	保育原理	2	
	教育原理	2	
	児童家庭福祉	2	
	社会福祉		2
	社会的養護	2	
	保育の心理学Ⅰ	2	
	保育の心理学Ⅱ		1
	子どもの保健Ⅰ a	2	
	子どもの保健Ⅰ b		2
	子どもの保健Ⅱ	1	
	子どもの食と栄養		2
	保育課程論		2
	保育内容総論	1	
	乳児保育		2
	社会的養護内容		1
	保育表現技術・幼児体育Ⅰ		1
	保育表現技術・楽典	1	
	保育表現技術・ピアノⅠ	1	
	保育表現技術・造形Ⅰ	1	
	保育実習指導Ⅰ a		1
保育実習指導Ⅰ b		1	
保育士養成課程 選 択 必 修 科 目	保育表現技術・ピアノⅡ		1
	保育表現技術・造形Ⅱ		1
必 修 科 目	実習研究概論	2	
	クラスルームⅠ		1
合 計 単 位 数		21	19
		40	

科 目	体育Ⅰ	講 師	入江 由香子
授業目標	子どもから成人、高齢者まで誰もが願うことは健康で豊かな生活である。特に子どもの成長著しい時期に、成長や発達を妨げず食事・遊び（運動）・休養（睡眠）・病気にならない身体づくりなどの学びは必要不可欠である。本授業では、健康な子どもを育てるために大切な基本的な心身の発達段階・身体の仕組みと、保育者自身の健康づくりを講義と実技を通して学ぶこと目標とする。		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション（実技と講義の諸注意、個人票の記入など）</li> <li>2. 健康の定義、体力について</li> <li>3. 日本人の健康状態について（子どもから高齢者まで）</li> <li>4. 子どもと大人の身体の仕組みの違い</li> <li>5. 体力テスト、形態測定について</li> <li>6. 形態測定の実施（身長、体重、体脂肪率、周径囲など）</li> <li>7. 新体力テスト（握力、立ち幅跳び、上体おこし）、ストレッチ</li> <li>8. 新体力テスト（長座位体前屈、閉眼片足立ちなど）、ストレッチ</li> <li>9. 体力テストの振り返り、肥満について</li> <li>10. 生活習慣病、メタボリックシンドローム、ロコモティブシンドローム、フレイルについて</li> <li>11. 効果的な運動方法（有酸素運動と無酸素運動）</li> <li>12. ストレッチと筋力トレーニング</li> <li>13. ストレスについて</li> <li>14. まとめと定期試験について</li> <li>15. 定期試験</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……『健康生活と運動』小笠原正志編 株式会社 エスアイエス <b>参考書</b> ……なし		
評 価 の 方 法	実技 40%（全出席、積極性、意欲、チームワークなど）、定期試験 60%による総合評価 ＊実技と講義の両方の授業を行います。出席重視のため欠席をしないこと。 ＊実技はA71教室で行います。実技時にジャージを着用していない場合は受講させません。		

科 目	体育Ⅱ	講 師	菊池 一英
授業目標	幼児体育の意義と社会的背景を学び、幼児の心身の発育発達に則した、幼児体育の理論を学びます。また、幼児体育の基本である“遊びを中心”とした指導法を実践します。そして、子どもの身近にある運動遊具の管理方法についても学びます。保育現場に即生かせるバラエティーに富んだ体育遊びの数々を身に付けます。		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 幼児体育の意義と社会的背景、コミュニケーションゲーム（握手で遊ぼう）</li> <li>2. 保育現場での体育的活動（ビデオ視聴）—自由・設定形態—</li> <li>3. 体育遊びを年間通して、実施していく〈ねらいとその意味〉</li> <li>4. 体育遊びへの導入—展開と方法（ふれあい遊び）</li> <li>5. “ ” （まねっこ遊び）</li> <li>6. “ ” （マット遊び）</li> <li>7. “ ” （鬼遊び）※野外指導になります</li> <li>8. “ ” （ジャンケン遊び）</li> <li>9. “ ” （リズムダンス遊び）※ゴリラ、きのこ、さんぽ</li> <li>10. “ ” （運動量の多い遊び）</li> <li>11. “ ” （造形とのコラボ）※きのこで遊ぼう</li> <li>12. “ ” （ファンタジー遊び）※ビデオ視聴</li> <li>13. “ ” （巧技台遊び）</li> <li>14. “ ” （実技の振り返り）</li> <li>15. 体育遊びにおける、エピソード記録とは？</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……『仲間づくりのためのおもしろゲーム遊び』メイト <b>参考書</b> ……特になし		
評 価 の 方 法	出席率、レポート等で総合評価します		

科 目	保育原理	講 師	中村 美奈子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育の意義、保育の歴史など保育にかかわる基本的な事項を学ぶ。</li> <li>・ 保育環境、保育方法などの保育の展開について学ぶ。</li> <li>・ 保育所保育指針における保育の基本について理解する。</li> <li>・ 保育の現状と今後の課題について学ぶ。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育の理念、保育とは何か</li> <li>2. 乳幼児期の子どもの特性</li> <li>3. 子どもを理解するとは</li> <li>4. 保育所、幼稚園、認定こども園</li> <li>5. 保育所保育の原理、保育所の目的と役割</li> <li>6. 保育所保育の原理、保育の記録と評価</li> <li>7. 子どもの最善の利益を考慮する保育</li> <li>8. 保育の計画及び評価、指導計画の作成と展開</li> <li>9. 保育の計画及び評価、保育の記録と評価</li> <li>10. 保育者に求められる専門性</li> <li>11. 子育て支援、障害を持つ子どもの理解と支援</li> <li>12. 保育の思想と子ども観(1)</li> <li>13. 保育の思想と子ども観(2)</li> <li>14. 試験</li> <li>15. まとめ</li> </ol> <p style="text-align: right;">※内容は授業の進み具合によって変更することもあります</p>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……『保育所保育指針解説書』 授業内で配布したプリントはまとめておく <b>参考書</b> ……特に指定なし		
評 価 の 法	出席、授業態度を重視し、提出プリント、試験による総合評価		

科 目	教育原理	講 師	桑嶋 晋平
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育の思想や歴史を学ぶことを通して自身の教育観や子ども観を問いなおすこと</li> <li>・ 自身のうけてきた教育をふりかえり、ことばで表現すること</li> <li>・ 現代の教育の諸問題を多角的な視点から考えること</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. イントロダクション</li> <li>2. 「教育」とは何か？</li> <li>3. 「学び」と「教え」</li> <li>4. 共同体と人間形成</li> <li>5. 近代学校の成立と特徴</li> <li>6. 「子ども」とは誰か？</li> <li>7. 近代家族と教育</li> <li>8. 「主体的である」とはどういうことか？</li> <li>9. 教育の環境・空間</li> <li>10. 教育の空間をデザインする</li> <li>11. 遊びと体験</li> <li>12. 対話について</li> <li>13. ジェンダーと教育</li> <li>14. 異質な他者との共生</li> <li>15. 講義のまとめ</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……特に指定なし <b>参考書</b> ……適宜指示する		
評 価 の 法	出席状況および各講義後の小レポートによって評価する		

科 目	児童家庭福祉	講 師	畑岡 隆
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士として必要な児童家庭福祉の法、施策、行政などの知識を学ぶ。</li> <li>・子どもや家族、家庭についての幅広い見方や考え方を養う。</li> <li>・よりよく生きること、ウェルビーイングについて理解する。</li> <li>・感じたことや思ったことを文できちんと表現できるようにする。</li> <li>・自分の考えをまとめ、伝える力を身につける。</li> </ul>		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス、ヒトと人の理解</li> <li>2. 児童福祉の基本理念</li> <li>3. 児童福祉と健全育成</li> <li>4. 児童憲章とよい環境(1)</li> <li>5. 児童憲章とよい環境(2)</li> <li>6. 保育と子育て支援(1)</li> <li>7. 保育と子育て支援(2)</li> <li>8. 保育と子育て支援(3)</li> <li>9. 保育と子育て支援(4)</li> <li>10. 保育と子育て支援(5)</li> <li>11. 障害と子育て支援(1)</li> <li>12. 障害と子育て支援(2)</li> <li>13. 障害と子育て支援(3)</li> <li>14. 社会的養護と児童虐待</li> <li>15. 試験</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……『保育者養成のための子ども家庭福祉』大学図書出版 2018 <b>参考書</b> ……必要に応じて、授業で紹介する		
評 価 の 方 法	試験に自主レポートなどを加えて評価する（詳しくは初回に説明する）		

科 目	社会福祉	講 師	畑岡 隆
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士として必要な社会福祉の法、施策などの知識を学ぶ。</li> <li>・人（あるいは生物としてのヒト）について幅広い見方や考え方を養う。</li> <li>・よりよく生きること、ウェルビーイングについての理解を深める。</li> <li>・感じたことや思ったことを文できちんと表現する力を高める。</li> <li>・自分の考えをまとめ、伝える能力を向上させる。</li> </ul>		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス、人類の歩みと福祉</li> <li>2. 社会福祉の歴史(1)</li> <li>3. 社会福祉の歴史(2)</li> <li>4. 社会福祉の歴史(3)</li> <li>5. 貧困と生活保護制度(1)</li> <li>6. 貧困と生活保護制度(2)</li> <li>7. 障害と生活と福祉(1)</li> <li>8. 障害と生活と福祉(2)</li> <li>9. 障害と生活と福祉(3)</li> <li>10. 難病と生活と福祉</li> <li>11. 老いと生活と福祉(1)</li> <li>12. 老いと生活と福祉(2)</li> <li>13. 専門性と援助の方法(1)</li> <li>14. 専門性と援助の方法(2)</li> <li>15. 試験</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……相澤譲治編『保育士をめざす人の社会福祉』みらい 2016 <b>参考書</b> ……必要に応じて、授業で紹介する		
評 価 の 方 法	試験に自主レポートなどを加えて評価する（詳しくは初回に説明する）		

科 目	社会的養護	講 師	熊崎 有香
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的養護とは何かを理解する</li> <li>・社会的養護の歴史や法制度について理解する</li> <li>・社会的養護のニーズとその変化を理解する</li> <li>・社会的養護のもとで生活する子どもの状況を理解する</li> <li>・児童虐待の現状理解と被虐待児への理解を深める</li> <li>・社会的養護における保育士の役割や業務について理解する</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 調べ学習①</li> <li>2. 調べ学習②</li> <li>3. 社会的養護の基本概念</li> <li>4. 社会的養護の歴史と法制度の整備①</li> <li>5. 社会的養護の歴史と法制度の整備②</li> <li>6. 社会的養護のニーズの変化</li> <li>7. 児童虐待①—児童虐待とは何か—</li> <li>8. 児童虐待②—虐待対応の流れ—</li> <li>9. 児童虐待③—被虐待児の特性とケア—</li> <li>10. 子どもの権利</li> <li>11. 施設で暮らす子どもの生活と支援</li> <li>12. 子どもの自立支援</li> <li>13. 障害の理解と支援</li> <li>14. 家庭養護</li> <li>15. テスト</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……指定なし  <b>参考書</b> ……適宜資料を配布		
評 価 の 方 法	出欠席、受講態度、リアクションペーパー提出、テストによる総合評価		

科 目	保育の心理学 I	講 師	前川 圭一郎
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育実践に関わる発達心理学の基礎知識を学ぶ。</li> <li>・発達心理学の知見と保育実践を結びつけながら学ぶ。</li> <li>・子どもが人との相互的な関わりを通して発達していくことを具体的に理解する。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. 身体機能の発達、運動機能の発達</li> <li>3. 乳幼児期の特徴と発達 I</li> <li>4. 乳幼児期の特徴と発達 II</li> <li>5. 幼児期の特徴と発達 I</li> <li>6. 幼児期の特徴と発達 II</li> <li>7. ことばとコミュニケーションの発達</li> <li>8. 社会性の発達</li> <li>9. 自己と感情の発達</li> <li>10. 遊びの発達</li> <li>11. 知覚と認知の発達</li> <li>12. 発達の凸凹について I</li> <li>13. 発達の凸凹について II</li> <li>14. 学齢期以降の発達</li> <li>15. 試験</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……特に指定なし  <b>参考書</b> ……『0～6歳子どもの発達と保育の本』（Gakken保育Books）		
評 価 の 方 法	授業態度、出席を重視し、期末に行われる試験、レポート等による総合評価		







科 目	子どもの食と栄養	講 師	深川 卯子
授業目標	1. 健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養に関する基本的知識を学ぶ。 2. 子どもの発育と発達と食生活の関連について理解を深める。 3. 食育の基本とその内容、食育のための環境を理解する。 4. 家庭や児童福祉施設における食生活の現状と課題について（特に朝食欠食など）。 5. 特別な配慮を要する子どもの食と栄養について理解する（アレルギーについて含）。		
授 業 の 画	1. 発育期の食生活と栄養について 食育の大切さ 2. 栄養素について 働きと疾病との関係など 3.       〃       炭水化物・食物繊維 4.       〃       脂質 5.       〃       たんぱく質 6.       〃       ビタミン 7.       〃       無機質 8. 日本人の栄養摂取基準について 9. 食品群について 10. 乳汁期の食生活 11. 離乳期の食生活 12. 幼児期の食生活 13. 幼児期の偏食・食物とアレルギー 14. 現在の食生活の問題点と食育の意義・まとめ 15. 試験		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……『発育期の子どもの食生活と栄養』学建書院  <b>参考書</b> ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席、小テスト（授業中）、試験による総合評価		

科 目	保育課程論	講 師	清水 友康
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育課程の編成と指導計画の作成について、具体的に理解する。</li> <li>・ 年齢別の発達の主な特徴と保育者の援助の配慮点について学ぶ。</li> <li>・ 子ども一人ひとりの発達、保育の展開を学ぶ、実践につながる知識を深める。</li> </ul>		
授 業 の 画	1. ガイダンス 2. 保育課程とは 3. 保育における指導計画の種類と意義 4. 指導計画の記入方法と留意事項 5. 個々に応じた指導計画の捉え方（養護編） 6. 個々に応じた指導計画の捉え方（教育編） 7. 長期・短期の指導計画について 8. 保育士及び保育所の自己評価について 9. 指導計画の作成① 10. 指導計画の作成② 11. 講評と振り返り 12. 指導計画の作成③ 13. 指導計画の作成④ 14. 試験 15. まとめ		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……保育所保育指針〈平成29年告示〉  <b>参考書</b> ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席、授業態度（個人ワーク、グループワークへの取り組み）を重視。授業で配布するワークシートの内容、試験による総合評価。		



科 目	保育内容総論	講 師	中村 悦子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育所保育指針を基に保育全般を知る。</li> <li>・ 子どもの生活全体を通し、養護と教育が一体的に展開していくことを学ぶ。</li> <li>・ 多様化する社会情勢の中での保育所の在り方、役割を知る。</li> <li>・ 身近に起きている虐待を考える。</li> <li>・ 手遊び、絵本、読み聞かせ等々実技を学ぶ。</li> <li>・ 子育てに不安を抱えている地域社会への子育て支援について学ぶ。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション（授業の進め方や授業態度）</li> <li>2. 保育所指針にふれる「保育所」「幼稚園」</li> <li>3. 保育所指針から①</li> <li>4. 保育所指針から②</li> <li>5. } 子どもの発達</li> <li>6. }</li> <li>7. }</li> <li>8. } あそび</li> <li>9. }</li> <li>10. }</li> <li>11. 発達発表</li> <li>12. 子どもになって体験しよう</li> <li>13. 虐待の現状</li> <li>14. 地域の子育て支援</li> <li>15. テスト</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……『保育所保育指針』チャイルド社 <b>参考書</b> ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	授業態度重視、出欠席、提出物、授業内でのテストの総合評価		

科 目	乳児保育	講 師	中村 悦子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「0、1、2歳」の最も重要な時期の発達を学ぶ。</li> <li>・ 乳児期の「手をかけ！目をかけ！言葉かけ！」を具体的に学び、実践に繋げていけるようにする。</li> <li>・ 手遊び、折り紙、絵本、読み聞かせ等々実技を身につける。</li> <li>・ 子育てに不安を抱えている地域社会への子育て支援について学ぶ。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション（授業の進め方や授業態度）</li> <li>2. 0歳児室（乳児室）</li> <li>3. 乳児保育の基本</li> <li>4. 乳児保育の基本</li> <li>5. 乳児保育の基本</li> <li>6. 赤ちゃんの12ヶ月</li> <li>7. 赤ちゃんの12ヶ月</li> <li>8. 赤ちゃんの排泄</li> <li>9. 赤ちゃんの食事</li> <li>10. 赤ちゃんの睡眠</li> <li>11. 1歳児の発達</li> <li>12. 1歳児の保育</li> <li>13. 2歳児の発達と保育</li> <li>14. おもちゃを作ってみよう</li> <li>15. 地域社会の子育て支援と現状</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……『やさしい乳児保育』青踏社 <b>参考書</b> ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	授業態度重視、出欠席、提出物、授業内でのテストの総合評価		

科 目	社会的養護内容	講 師	熊崎 有香
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際の事例を通して社会的養護を理解する</li> <li>・社会的養護における支援内容を深める</li> <li>・支援者の立場となる自分のことをより深く理解する</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会的養護のおさらい</li> <li>2. 事例検討①</li> <li>3. 事例検討②</li> <li>4. 事例検討③</li> <li>5. アセスメントとソーシャルワーク①</li> <li>6. アセスメントとソーシャルワーク②</li> <li>7. 自立支援計画書の作成</li> <li>8. 被措置児童等虐待について</li> <li>9. 子どもの権利擁護</li> <li>10. 家庭的養護とはなにか</li> <li>11. アフターケア</li> <li>12. 子どもと向き合う一支援者の役割とはなにかー (DVD学習)</li> <li>13. 自己覚知①</li> <li>14. 自己覚知②</li> <li>15. レポートテスト</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……指定なし  <b>参考書</b> ……適宜資料を配布		
評 価 の 方 法	出欠席、受講態度、リアクションペーパー提出、テストによる総合評価		

科 目	保育表現技術・幼児体育 I	講 師	真砂 雄一
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児期における身体運動に関する基本知識を理解する。</li> <li>・子どもの身体活動と運動遊びの具体的な内容について理解・修得し、保育者としての基礎的能力と実践力を身につける。</li> <li>・運動遊びにおける設備・遊具などの安全管理および安全教育に必要な知識や技能を修得する。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション、リズム遊び</li> <li>2. 身体表現</li> <li>3. ボール遊び</li> <li>4. 鬼ごっこ</li> <li>5. 小型遊具と大型遊具を用いた遊び</li> <li>6. 幼児体育指導案の計画、作成</li> <li>7. 模擬実践</li> <li>8. 模擬実践</li> <li>9. 模擬実践、まとめと振り返り</li> <li>10. 幼児体育の意義、目的</li> <li>11. 幼児体育実践、運動指導の実際 (DVD)</li> <li>12. 子どもの運動能力、体力</li> <li>13. 年代に応じた運動の指導法 (DVD)</li> <li>14. 子どもの発育・発達と遊具</li> <li>15. 試験</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……特になし  <b>参考書</b> ……特になし		
評 価 の 方 法	指導案作成・模擬実践内容 (20%) + 実技参加の積極性および協調性 (20%) + 授業に対する関心・意欲・態度 (30%) + 試験 (30%) = 合計 (100%)		

科 目	保育表現技術・楽典	講 師	木下 裕子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽についての基本的な構成要素を理解する。</li> <li>・楽譜の読み方、書き方の基礎を学ぶ。</li> <li>・演奏や簡単な合奏を通して、子どもたちと音楽を分かち合うために何が必要か考察する。</li> <li>・子どものうたに親しみ、自ら楽しく表現指導できる力を養う。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 音の高さについて</li> <li>2. 音の長さについて</li> <li>3. 拍子・リズムについて</li> <li>4. 音程について</li> <li>5. 音階について</li> <li>6. ピアノ演奏の基礎</li> <li>7. 調について①</li> <li>8. 調について②</li> <li>9. 和音について①</li> <li>10. 和音について②</li> <li>11. 子どもの歌の伴奏</li> <li>12. 音楽用語と記号</li> <li>13. 合奏</li> <li>14. 試験</li> <li>15. まとめ</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……特に指定なし プリントを配布する <b>参考書</b> ……ピアノ教本など、授業時に指示します		
評 価 の 方 法	受講態度、出席を重視し、試験・提出物等による総合評価		

科 目	保育表現技術・ピアノ I	講 師	上田 亜津子・関 義夫 藤村 秀子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピアノの基礎演奏技術を学ぶ（へ音記号導入以上を目安とする）。</li> <li>・簡単な子どもの歌を弾き歌いできるようにする。</li> <li>・楽しい生き生きとした音楽表現を目指してピアノの練習を日々心掛ける。</li> <li>・毎回の個人レッスンについて、レッスン・進度表に記入していく。</li> </ul> （備考）経験者については初心者と同じ曲から始めて、自分のテクニクを確認しつつ、さらにピアノⅡの内容に進んで下さい。		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. 個人レッスン：導入～両手で弾く（全音符・4分音符・2分音符・付点・休符について）</li> <li>3. 〃：拍子記号・リピート記号</li> <li>4. 〃：異なる左右の指の動き</li> <li>5. 〃：スラー（滑らかなフレージングの演奏）の表現</li> <li>6. 〃：タイの奏法</li> <li>7. 〃：8分音符の導入</li> <li>8. 〃：8分音符の導入</li> <li>9. 〃：付点4分音符・8分音符の奏法</li> <li>10. 〃：大譜表、へ音記号の読み方</li> <li>11. 〃：大譜表、へ音記号の読み方</li> <li>12. 〃：「むすんでひらいて」を弾いてみよう</li> <li>13. 〃：ハ長調の弾き歌い演習</li> <li>14. 〃：実技試験発表曲の徹底練習</li> <li>15. 実技試験</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……『おとなのためのバイエル教本』ドレミ楽譜出版社 『こどものうた100』チャイルド本社 <b>参考書</b> ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	受講態度、出席状況、実技試験による総合評価		

科 目	保育表現技術・造形 I	講 師	なかむら しんいちろう
授業目標	<p>造形表現の意義を考え、様々な教材を用いて主に絵画分野の課題（講義と実技）を行う。学生各自は、内なる心の思いを作品に表現し、造形の喜び、面白さを体感する。また制作の過程から保育者と子どもの両方の立場を経験する。</p> <p>そして子どもの主体的活動及び保育者の援助とは何かを考え、自らの保育における造形感、造形技術を養う。</p> <p>* 進行状況に合わせ内容や順番を適宜変更する。</p>		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> <li>好きな色のチームキャラクター、マップ制作。</li> <li>様々な線遊び。ミニコインボリ制作。</li> <li>基本図形の組み合わせで絵を描く。●▲■</li> <li>色について（色相環、色相、明度、彩度、反対色、近似色）。レインボーの世界。</li> <li>造形表現について（表現と表出、意義、自己肯定感、個の確立、遊び、多様性）</li> <li>絵画の発達段階について（なぐりがき期、象徴期、前図式期、図式期）</li> <li>幼児画の特徴1（頭足人、レントゲン画、誇張画、展開描法、多視点画、アニミズム的表現）</li> <li>幼児画の特徴2（カタログ表現、基底線表現、積み上げ表現、概念画、モダンテクニック）</li> <li>モダンテクニック1（はじき絵、フロッタージュ、デカルコマニーなど）</li> <li>モダンテクニック2（スクラッチ、スタンプ、拓本、染め、ひっかき絵など）</li> <li>グループによる壁面制作：内容を相談、検討し、表現展のプランを立て必要な道具材料を揃える。</li> <li>グループによる壁面制作：展示作品の制作。（個別）</li> <li>グループによる壁面制作：展示舞台の制作。（グループ）</li> <li>グループによる壁面制作：飾り付けと仕上げを行い完成。全体発表をする。</li> <li>まとめ、ノート制作</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……特に指定なし</p> <p>参考書……特に指定なし</p>		
評 価 の 方 法	<p>総合的評価。特に授業態度を重視（授業内での作品の完成度。制作に対する意欲と真摯な姿勢、適切な片付け、出席状況）ノート提出。</p>		

科 目	保育実習指導 I a	講 師	松森 照幸
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貴重な学習体験である保育所実習を有意義なものにするために必要な事項を学ぶ。</li> <li>・ 実習に臨む目的意識、実習生としての常識を身につける。</li> <li>・ 実習日誌の記載方法を体得する。</li> <li>・ 学生自身が立案、作成した指導案や制作物の発表を行う。</li> </ul>		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育実習の概要</li> <li>2. 保育所の概要と実習生としての心構え 個人票作成</li> <li>3. 保育所の1日の流れと保育内容の理解</li> <li>4. 実習日誌を書く意義と記入の仕方</li> <li>5. 幼児クラスの実習日誌の書き方</li> <li>6. 乳児クラスの実習日誌の書き方</li> <li>7. 実習目標を立てる①</li> <li>8. 実習目標を立てる②</li> <li>9. 実習に伴う書類の作成 事務手続きの確認</li> <li>10. グループワークによる手遊び・絵本の指導案作成①</li> <li>11. グループワークによる手遊び・絵本の指導案作成② オリエンテーションについて</li> <li>12. グループワークによる手遊び・絵本の発表①</li> <li>13. グループワークによる手遊び・絵本の発表②</li> <li>14. まとめと振り返り</li> <li>15. 試験</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……『フォトランゲージで学ぶ 子どもの育ちと実習日誌・指導計画』萌文書林 『保育所保育指針』</p> <p>参考書……授業内で配布したプリントはファイルにまとめておく</p>		
評 価 の 方 法	<p>出席状況（無断欠席不可）、授業態度、小テスト、提出物、発表、試験等による総合評価</p>		

科 目	保育実習指導 I b	講 師	井上 恵理
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貴重な学習経験である施設実習を有意義なものにするために必要な事項を学ぶ。</li> <li>・ 児童福祉施設の入所児、職員に対する理解を深める。</li> <li>・ 実習に臨む目的意識、問題意識を育てる。</li> <li>・ 実習日誌の記載方法を体得する。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 施設実習の意義と目的</li> <li>2. 児童福祉入所・通所施設実習の意義と目的</li> <li>3. 児童養護施設について</li> <li>4. 乳児院について</li> <li>5. 知的障害児・者施設について</li> <li>6. 母子生活支援施設について</li> <li>7. 実習日誌の理解と演習①</li> <li>8. 実習日誌の理解と演習②</li> <li>9. 実習目標を立てる</li> <li>10. 施設別講義①</li> <li>11. 施設別講義②</li> <li>12. 施設別講義③</li> <li>13. 実習に伴う書類の作成、事務手続きの確認</li> <li>14. まとめと振り返り</li> <li>15. 試験</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……特に指定なし <b>参考書</b> ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席状況（無断欠席不可）、授業態度、発表、提出物、試験等による総合評価		

科 目	保育表現技術・ピアノⅡ	講 師	石原 奈保子・上田 亜津子 藤村 秀子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ピアノⅠに引き続き、ピアノの基礎表現技術を学んでいく。</li> <li>・ 現場で使える生活の歌や童謡の弾き歌いレパートリーを増やしていく。</li> <li>・ 日々の自己練習を積み重ねることで、個人レッスンで音楽表現の楽しさや共有する喜びを体験する。</li> <li>・ 毎回の個人レッスンについて、レッスン・進度表に記入していく。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. 個人レッスン：大譜表、へ音記号の復習</li> <li>3.       〃       ：跳躍するメロディーの指の使い方（指替え、指広げ等）</li> <li>4.       〃       ：ハ長調の音階練習</li> <li>5.       〃       ：3連符と16分音符</li> <li>6.       〃       ：イ短調の音階</li> <li>7.       〃       ：ト長調の音階と曲</li> <li>8.       〃       ：ト長調の童謡</li> <li>9.       〃       ：ニ長調の音階と曲</li> <li>10.      〃       ：ニ長調の童謡</li> <li>11.      〃       ：へ長調の音階と曲</li> <li>12.      〃       ：へ長調の童謡</li> <li>13.      〃       ：生活の歌</li> <li>14.      〃       ：実技試験の曲の徹底練習</li> <li>15. 実技試験</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……『おとなのためのバイエル教本』、『こどものうた100』チャイルド本社 <b>参考書</b> ……『始めよう！弾き歌い』		
評 価 の 方 法	受講態度、出席状況、実技試験による総合評価		

科 目	保育表現技術・造形Ⅱ	講 師	なかむら しんいちろう
授業目標	<p>造形表現の意義を考え、様々な教材を用いて主に工作分野の課題（講義と実技）を行う。学生各自は、内なる心の思いを作品に表現し、造形の喜び、面白さを体感する。また制作の過程から保育者と子どもの両方の立場を経験する。</p> <p>そして子どもの主体的活動及び保育者の援助とは何かを考え、自らの保育における造形感、造形技術を養う。</p> <p>* 進行状況に合わせ内容や順序を適宜変更する。</p>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>紙遊び（切る・丸める・折る・ちぎる・揉むなど。長い紙紐をつくろう。）</li> <li>長いへびや青虫制作（紙）トンボ作り（透明シート、ストロー）</li> <li>ハロウィンのカボチャ制作（新聞紙とペーパーマット）コウモリ・クロネコ制作（ペーパーロール芯）</li> <li>ミノムシ、フクロウ制作（ちぎり紙、はじき絵、にじみ絵。コーヒーフィルターと封筒）</li> <li>キノコ制作（ペーパーロール芯とコーヒーフィルター）</li> <li>雪だるま制作（紙皿）</li> <li>校外学習。戸山公園でのスケッチとドングリ落ち葉ひろい</li> <li>クリスマスツリーやリース制作（フロッタージュ技法。落ち葉などの自然物、コイン）</li> <li>シール絵</li> <li>グループによる壁画制作：季節をテーマに表現展の相談。プラン検討と決定。必要な材料道具を準備。</li> <li>グループによる壁画制作：展示する作品の制作。（個別作業）</li> <li>グループによる壁画制作：展示する舞台の制作。（集団作業）</li> <li>グループによる壁画制作：飾り付けと仕上げ。完成。グループ発表。まとめ。</li> <li>作品集制作</li> <li>まとめノート制作。授業内提出。</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……特に指定なし</p> <p>参考書……特に指定なし</p>		
評 価 の 方 法	<p>総合的評価。特に授業態度を重視（毎回の授業内での作品の完成度。制作に対する意欲と真摯な姿勢、適切な片付け、出席状況）及びまとめノート提出必須。</p>		

科 目	実習研究概論	講 師	熊崎 有香・松森 照幸
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育士養成課程における保育実習の意義を知る。</li> <li>保育実習Ⅰ（保育所・施設）、保育実習Ⅱ、保育実習Ⅲの概要を把握する。</li> <li>保育所・施設について理解する。</li> <li>実習生としての基礎知識・技能を身につけ、実習に期待を持つ。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>授業説明 保育実習Ⅰ（保育所・施設）・保育実習Ⅱ・Ⅲの概要</li> <li>保育所について(1)</li> <li>保育所について(2)</li> <li>保育所現場職員による講義</li> <li>健康管理について</li> <li>実習の手続きについて</li> <li>保育実習Ⅱ・Ⅲについて(1)</li> <li>保育実習Ⅱ・Ⅲについて(2)</li> <li>施設について(1)</li> <li>施設について(2)</li> <li>実習生のマナー</li> <li>自己紹介スケッチブックシアターの制作</li> <li>グループワーク</li> <li>試験</li> <li>まとめと振り返り</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……『保育所保育指針』</p> <p>参考書……授業内で配布したプリントはファイルにまとめておく</p>		
評 価 の 方 法	<p>出席状況（無断欠席不可）、授業態度、小テスト、提出物、発表、試験等による総合評価</p>		



科 目	クラスルーム I	講 師	松森 照幸
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安定した学校生活を送る上で、必要な留意事項について理解する。</li> <li>・クラス活動を通して、保育者に必要とされるコミュニケーション力、自主性、協調性、責任感、協働の態度等の資質を養う。</li> </ul>		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. レクリエーション</li> <li>2. 学生便覧の解説・キャンパスツアー</li> <li>3. キャリアカード作成</li> <li>4. 個別面談</li> <li>5. レクリエーション</li> <li>6. 写真撮影</li> <li>7. チャイルド祭について</li> <li>8. 振り返り・後期の学校生活に向けて</li> <li>9. クラス活動</li> <li>10. クラス活動</li> <li>11. クラス活動</li> <li>12. クラス活動</li> <li>13. クラス活動</li> <li>14. クラス活動</li> <li>15. 振り返り・2年次の学校生活に向けて</li> </ol> <p style="margin-left: 150px;">} 学校行事等の企画や準備・レクリエーション</p>		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……特に指定なし</p> <p>参考書……特に指定なし</p>		
評 価 の 方 法	出席状況による評価		